フランジアダプター　ＤＴ型

（フランジ接合金具）

型式：FADS－DT，FADS－DTR

呼び径：５０～３００mm

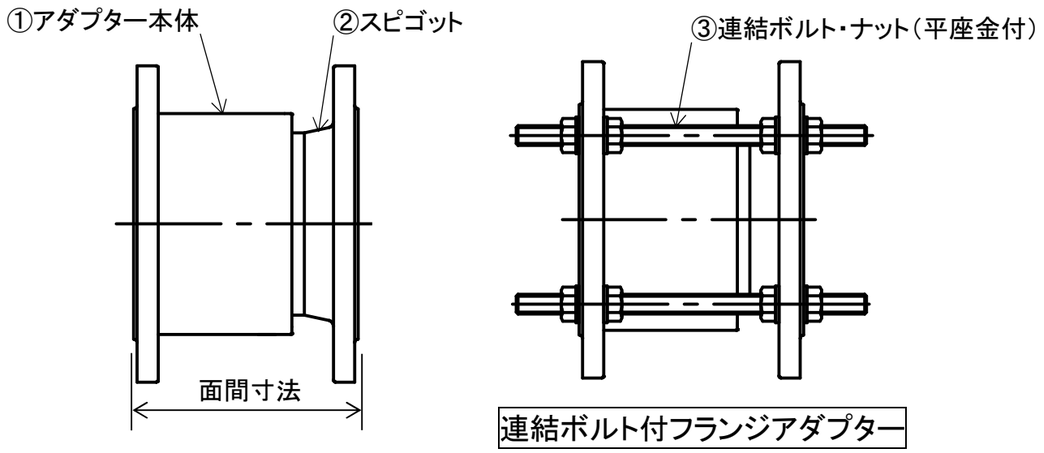
取　扱　説　明　書

この度は、コスモ工機の製品をご採用いただきありがとうございます。ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みのうえ、本製品を安全に正しくお使いください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が想定される内容を示しています。

フランジアダプターDT型は、部品①～②で構成されています。
また、連結ボルト付フランジアダプターの場合は③の部品が付属されています。

FADS－DT　　FADS－DTR



連結ボルト付フランジアダプター

⚠警告	フランジアダプターにはスピゴットの抜け出しを防止するストッパーが内蔵されておりますが、伸びきった状態、又は規定の伸び量（標準面間寸法＋30mm）を超えた状態で継続使用すると、ストッパー機能を損傷しアダプター本体からスピゴットが抜け出す恐れがあります。必ず規定の伸び量以内の面間寸法でご使用ください。 抜け出しや漏水が発生する恐れがあります。

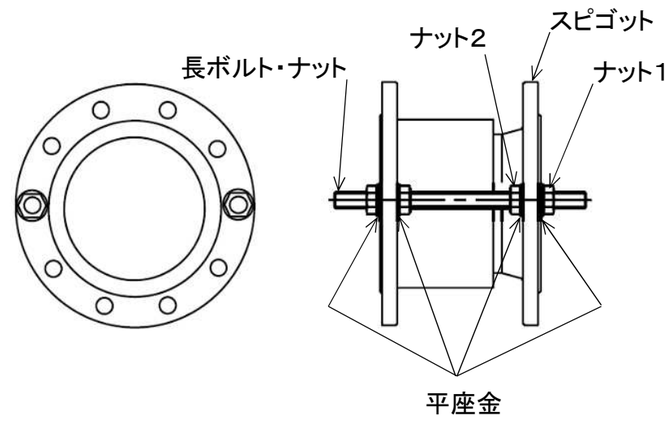
⚠注意	PPバンド及びスチールバンドを取り外すときは、はね返りに注意してください。 負傷する可能性があります。
	フランジアダプターの標準面間寸法より20mm以上縮めて配管すると、後のバルブ交換時に縮み代がなくなりますのでご注意ください。 バルブの交換作業に支障がでます。
	フランジ接合用のボルト・ナット及びフランジ用パッキンは施工前にお客様で別途ご用意ください。連結ボルト付フランジアダプターの場合は連結ボルト・ナットが付いていないフランジ穴の数だけ、フランジ接合用ボルト・ナットをご用意ください。

新規に配管する場合の接合方法

１ フランジアダプター、バルブ及び配管のフランジ面とパッキンを清掃し、傷や腐食、ごみがないことを確認してください。

２ 必要に応じて、フランジアダプターの面間寸法を調整してください。
フランジアダプターの面間寸法の伸縮調整を行う場合、まれに固くて動きにくいことがあります。その場合は、長ボルト・ナット・平座金を数組ご用意頂き、次の手順で伸縮調整を行ってください。
連結ボルト付フランジアダプターの場合は、連結ボルト・ナットを使用してこの作業を行ってください。
また、連結ボルト付の10Kフランジ仕様の場合は、特殊座金が付属していますので、3/3ページの連結ボルト付フランジアダプターの場合の2を参照して作業を行ってください。

①長ボルト・ナット・平座金を下図のとおり製品にセットしてください。なお、塗装面を傷つけないように、フランジ面とナットの間に平座金を取り付けてください。連結ボルト付フランジアダプターの場合は、製品出荷時に取り付けてあります連結ボルト・ナットをそのまま使用してください。
②伸ばす場合はナット1を緩め、ナット2を締めてください。また、縮める場合はナット2を緩め、ナット1を締めてください。
③調整終了後は、長ボルト・ナット・平座金を全て取り外し、３以降の手順に従って施工してください。

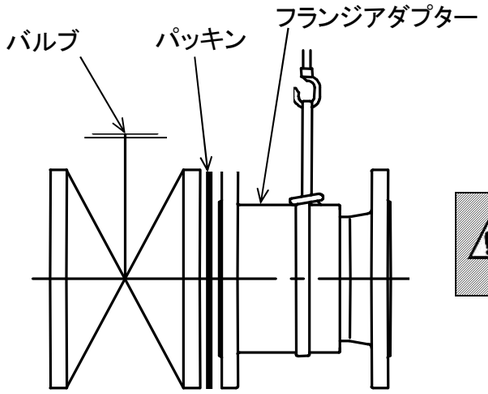


３ フランジアダプターをナイロンスリング等の吊り具を使用してフランジアダプターの塗装に傷などが付かないように、水平に吊り上げてください。

⚠警告	フランジアダプターの吊り上げ、玉掛は、質量（重量）を確認のうえ行い、吊荷の下に立ち入らないなど、安全に十分注意して作業してください。 落下の際に重大事故の原因となります。

４ フランジアダプターの接合方式について
（1）フランジアダプター、接続されるバルブ及び配管のフランジ仕様（RF形又はGF形）を確認し、
RF－RF又はGF－RFの組合せで接続される向きになっていることを確認してください。
※フランジアダプターの向きは、両側のフランジ仕様が同じ場合、どちらでも接合可能です。

（2）フランジアダプターとバルブのフランジ仕様がどちらもRF形の場合は、双方のフランジ面の間にRFガスケットをセットしてください。
また、フランジアダプターとバルブのフランジ仕様のどちらかがGF形の場合は、GF形フランジのガスケット溝に所定のGFガスケットを取り付けてください。

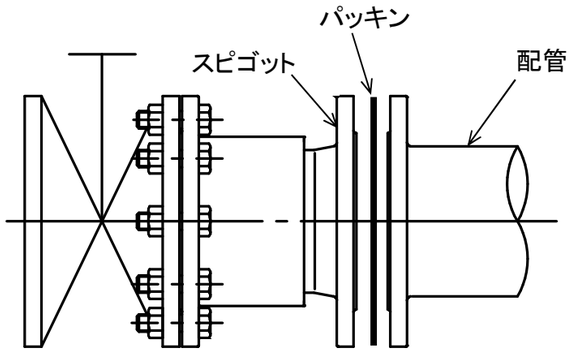


⚠注意	フランジとパッキンの心出しを行い、ズレやめくれがないように接合してください。 漏水が発生する恐れがあります。

（3）フランジ接合用ボルト・ナットで片締めにならないように均等に締め付け、フランジアダプターとバルブを接合します。

⚠注意	片締めにならないよう均等に標準締付トルクで締め付けてください。 漏水が発生する恐れがあります。

（4）配管とのフランジ接合についても（2）、（3）と同様に施工してください。
フランジ接合用ボルト・ナットが届かない場合は、呼び径に応じて2本又は4本（以上）の適当な長ボルトを使用して徐々にフランジアダプターを伸ばし、配管側のフランジ面と合わせた後、フランジ接合用ボルト・ナットで均等に締め付けてください。



5 すべてのボルト・ナットを標準締付トルクで締め付けてください。

フランジ接合用ボルト・ナットの標準締付トルク

呼び径 mm	ボルトの呼び径	締付トルク N·m
50～200	M16	60
250・300	M20	90

⚠注意	片締めにならないよう均等に標準締付トルクで締め付けてください。 漏水が発生する恐れがあります。

配管が完了している場合の接合方法

1 フランジアダプター、バルブ及び配管のフランジ面とパッキンを清掃し、傷や腐食、ごみがないことを確認してください。

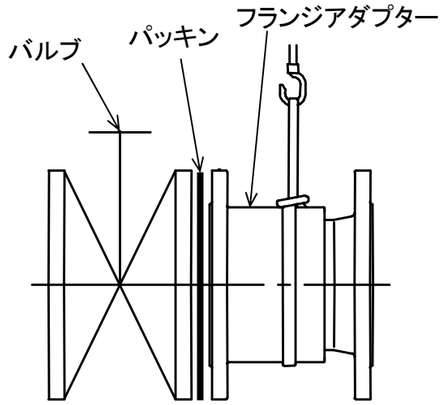
2 挿入する寸法に合わせて、必要に応じてフランジアダプターの面間寸法を調整してください。
固くて動きにくい場合は、1/3ページ右側の2をご参照の上、調整してください。

3 フランジアダプターを、ナイロンスリング等の吊り具を使用し、フランジアダプターの塗装に傷などが付かないように水平に吊り上げてください。

⚠警告	フランジアダプターの吊り上げ、玉掛は、質量（重量）を確認のうえ行い、吊荷の下に立ち入らないなど、安全に十分注意して作業してください。 落下の際に重大事故の原因となります。

4 フランジアダプターの接合方式について
（1）フランジアダプター、接続されるバルブ及び配管のフランジ仕様（RF形又はGF形）を確認し、RF－RF又はGF－RFの組合せで接続される向きになっていることを確認してください。
※フランジアダプターの向きは、両側のフランジ仕様が同じ場合、どちらでも接合可能です。

（2）フランジアダプターとバルブのフランジ仕様がどちらもRF形の場合は、双方のフランジ面の間にRFガスケットをセットしてください。
また、フランジアダプターとバルブのフランジ仕様のどちらかがGF形の場合は、GF形フランジのガスケット溝に所定のGFガスケットを取り付けてください。

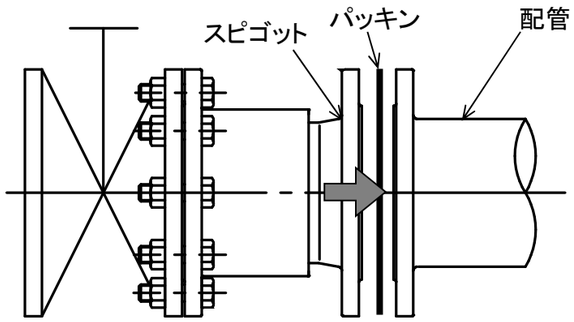


⚠注意	フランジとパッキンの心出しを行い、ズレやめくれがないように接合してください。 漏水が発生する恐れがあります。

（3）フランジ接合用ボルト・ナットで片締めにならないように均等に締め付け、フランジアダプターとバルブを接合します。

⚠注意	片締めにならないよう均等に標準締付トルクで締め付けてください。 漏水が発生する恐れがあります。

（4）配管とのフランジ接合についても（2）、（3）と同様に施工してください。
なお、フランジ接合用ボルト・ナットが届かない場合は、呼び径に応じて2本又は4本（以上）の適当な長ボルトを使用して徐々にフランジアダプターを伸ばし、配管側のフランジ面と合わせた後、フランジ接合用ボルト・ナットで均等に締め付けてください。



5 すべてのボルト・ナットを標準締付トルクで締め付けてください。

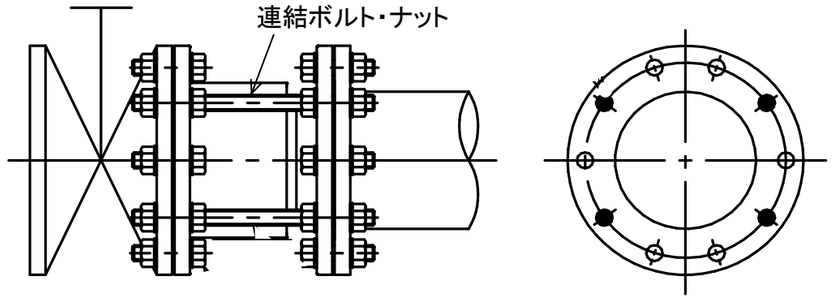
フランジ接合用ボルト・ナットの標準締付トルク

呼び径 mm	ボルトの呼び径	締付トルク N·m
50～200	M16	60
250・300	M20	90

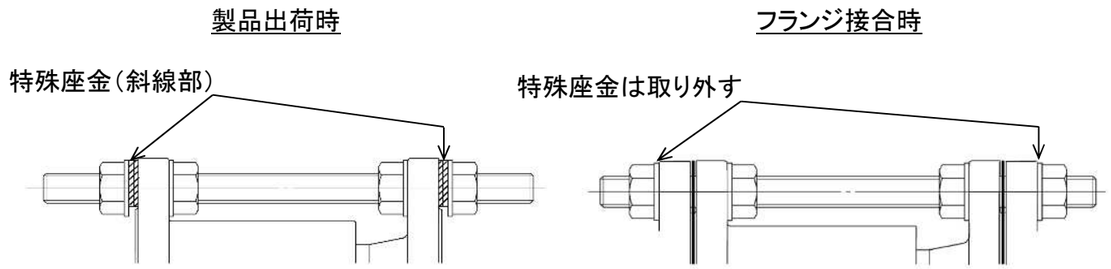
⚠注意	片締めにならないよう均等に標準締付トルクで締め付けてください。 漏水が発生する恐れがあります。

連結ボルト付フランジアダプターの場合

1 連結ボルト付フランジアダプターの場合、連結ボルトは必ず製品出荷時と同じ穴の位置に取り付け、上記の標準締付トルクで締め付けてください。



2 連結ボルト付フランジアダプターの10Kフランジ仕様の場合は、フランジシート面と平座金の干渉を防止する特殊座金を製品出荷時に付属しております。特殊座金は、面間寸法の調整時には付けたまま行い、フランジ接合時には取り外してください。



コスモエ機株式会社
本社／〒105-0003　東京都港区西新橋3-9-5
TEL(03)3435-8805㈹　FAX(03)3435-8825